

# 記入例

## 様式第1（第4条関係）

特定施設設置（~~使用~~変更）届出書

○年 ○月 ○日

（宛先）富山市長

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名 富山市新桜町○番△号  
凸山精密工業株式会社  
代表取締役 凸山 凹夫

ダイオキシン類対策特別措置法第12条第1項（~~第13条第1項又は第2項、第14条第1項~~）の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	凸山精密工業株式会社本社工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	富山市新桜町○番△号	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	別表1 5号 廃棄物焼却炉 別表2 15号イ 廃ガス洗浄施設	※施設番号	
△特定施設の構造	大気基準適用施設にあっては別紙1、水質基準対象施設にあっては別紙4のとおり。	※審査結果	
△特定施設の使用の方法	大気基準適用施設にあっては別紙2、水質基準対象施設にあっては別紙5のとおり。	※備考	
△発生ガス又は汚水若しくは廃液の処理の方法	大気基準適用施設にあっては別紙3、水質基準対象施設にあっては別紙6のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄には、大気基準適用施設にあってはダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第1、水質基準対象施設にあっては同令別表第2に掲げる号番号及び名称を記載すること。
  - 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
  - 3 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

## 記入例

### 別紙 1

#### 特定施設（大気基準適用施設）の構造

工場又は事業場 における施設番号	No. 1 焼却炉	
特定施設号番号及び名称	別表 1 5号 廃棄物焼却炉	
型 式	〇〇社 流動床焼却炉 ××型	
施設の設置場所	別紙①のとおり	工場の見取り図等に特定施設の設置場所を明記（色付け）してください
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
規    模	原料の処理能力（t/h）	
	変圧器の定格容量（KVA）	
	炉の容量（t）	
	焼 却 能 力（kg/h）	500
	火 床 面 積（m <sup>2</sup> ）	10
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項		

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、令別表第1に掲げる施設に係る項目について記載すること。
- 3 特定施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付のこと。

記入例

別紙 2

特定施設（大気基準適用施設）の使用の方法

工場又は事業場 における施設番号		No. 1 焼却炉		
使用状況	1日当たりの使用 時間及び月使用 日数等	8 時～ 17 時 20 日/月	時～ 時 日/月	
	季節変動	なし		
原料及び 燃料 (ダイオキシ ン類の発生に影 響のあるもの に限る。)	種類	合板くず(樹脂接着剤を含む) 灯油(助燃バーナー用)		
	使用割合	木材 90wt% 樹脂接着剤 10wt% 灯油は必要に応じて使用		
	原料又は燃料中 の塩素分の成分 割合(%)	合板中に0.5%含有 (接着剤中に5%含有)		
	1日の使用量	合板くず 4,500kg/日 灯油 100L/日		
排出ガス量 (m <sup>3</sup> /h)		最大 9,000 通常 7,200		理論計算、メーカー実績、実測等により値を記入してください。 計算過程、測定結果等 根拠資料を添付してください。
排出ガス温度(°C)		200		
排出ガス中の酸素濃度(%)		12		
排出ガス中のダイオキシ ン類の濃度 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)		最大 2.5 通常 1.0	最大 通常	
その他参考となるべき事項				

- 備考 1 廃棄物焼却炉にあつては、種類の欄には、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くずその他の廃棄物の種類を、使用割合の欄には、廃棄物の種類ごとの焼却割合を記載すること。
- 2 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、排出ガス中のダイオキシンの濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
- 3 ダイオキシンの濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 その他参考となるべき事項の欄には、排出ガスの排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出ガス量の変動の状況を記載のこと。

## 記入例

### 別紙 3

#### 発生ガスの処理の方法

工場又は事業場における施設番号	No. 1    フィルター	No. 1    排ガス洗浄塔
名称及び型式	△△社製    バグフィルター □□型	△△社製    湿式スクラバー ○○型
発生ガスの処理の内容	ろ過集じん	洗浄集じん
処理の系統	別紙②のとおり	別紙②のとおり
施設の設置場所	別紙①のとおり	別紙①のとおり
設置年月日	年    月    日	年    月    日
工事着手予定年月日	○年   ○月   ○日	○年   ○月   ○日
工事完成予定年月日	○年   ○月   ○日	○年   ○月   ○日
使用開始予定年月日	○年   ○月   ○日	○年   ○月   ○日
その他参考となるべき事項		

特定施設から処理施設までの接続状況をフロー図で示してください

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 発生ガスの処理に係る施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

記入例

別紙 4

特定施設（水質基準対象施設）の構造

工場又は事業場における施設番号	No. 1 排ガス洗浄塔	
特定施設号番号及び名称	別表 2 15号イ 廃ガス洗浄施設	
型 式	△△社製 湿式スクラバー ××型	
構 造	鋼板製 詳細は別図③の通り	構造図を添付してください
主要寸法	幅 奥行 高さ 5 m × 6 m × 10 m	
能 力	排気量 150 m <sup>3</sup> /分	
配 置	別紙①のとおり	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

記入例

別紙5

特定施設（水質基準対象施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	No. 1 排ガス洗浄塔			
設置場所	別紙①のとおり			
操業の系統	別紙②のとおり			
使用時間間隔	8:00 ~ 17:00			
1日当たりの使用時間	9時間			
使用の季節的変動	なし			
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	水 180m <sup>3</sup> /日			
汚水又は廃液の汚染状態	通常	最大	通常	最大
	100pg-TEQ/L	200pg-TEQ/L		
汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	最大	通常	最大
	180	200		
その他参考となるべき事項				

季節的変動がある場合は、いつ頃どの程度変動するか記入してください

記入例

別紙 6

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	No. 1 排水処理施設							
処理施設の設置場所	別図 ① のとおり							
設置年月日	〇〇年 4月 1日				年 月 日			
工事着手予定年月日	年 月 日				年 月 日			
工事完成予定年月日	年 月 日				年 月 日			
使用開始予定年月日	年 月 日				年 月 日			
種類及び型式	□□社製 XY-500型							
構造	鋼 製							
主要寸法	幅 15m×奥行 20m×高さ 5m							
能力	300m <sup>3</sup> /日							
処理の方式	凝集沈殿、ろ過、中和							
処理の系統	別図 ④ のとおり							
集水及び導水の方法	別図 ⑤ のとおり							
使用時間間隔	0:00 ~ 24:00							
1日当たりの使用時間	24 時間 (0:00~24:00)							
使用の季節変動	なし							
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	高分子凝集剤		2kg/日		硫酸		5kg/日	
汚水等の汚染状態及び量	通常		最大		通常		最大	
	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	100	1	200	2			
量 (m <sup>3</sup> /日)	180	180	200	200				
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥 0.5t 産廃処理業者に委託処分 (埋立)							
排出水の排出方法	別図 ⑥ のとおり							
その他参考となるべき事項								

処理の系統をフロー図で示してください

処理施設で処理する水の導入経路を図面で示してください

備考2を参照。どの河川に排出されるかわかる工場周辺図を添付してください

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

## 記入例

### その他届出に必要な事項

1. ダイオキシン類の発生量（排出ガス又は排水中に含まれるダイオキシン類の量）

	排出濃度	排出ガス(水)量	排出時間	発生量
排出口 No.1	1.0ng-TEQ/Nm <sup>3</sup>	× 9,000m <sup>3</sup> /h	× 9h	= 81.0µg/日
排水口 No.1	1pg-TEQ/L	× 180m <sup>3</sup> /日		= 180ng/日

排出基準が適用される排ガスの排出口又は排水口ごとに1日あたりのダイオキシン類の発生量を記入してください

2. ダイオキシン類発生抑制のための構造上の配慮及び運転管理

- ・ 燃焼ガスが800℃以上の状態で燃焼室に2秒以上滞留できる燃焼室を設置し、集じん器に流入する燃焼ガスの温度をおおむね200℃以下に冷却できる冷却装置を備えている。
- ・ 廃プラスチック類は分別し、焼却しない。

ダイオキシン類発生を抑制するための焼却炉の構造の配慮や実施している運転管理について記入してください

3. 緊急連絡用の電話番号その他緊急時における連絡方法

事故発生時などの社内連絡網（関係機関含む）を記入してください。電話番号は昼間及び夜間について記入してください。

4. 排出ガスの発生及び排出ガスの処理の系統並びに排出ガスの測定箇所（特定施設が大気基準適用施設の場合のみ記入）

別図○のとおり

工場の見取図等を用意し、排出ガスの発生及び処理の系統や排出ガスの測定箇所を明記してください

5. 用水及び排水の系統（特定施設が水質基準対象施設の場合のみ記入）

別図○のとおり

工場の見取図等を用意し、使用水の系統及び排水の処理、排出系統を明記してください